

2023年12月27日
一般社団法人日本鉄鋼連盟
標準化センター事務局

2023年度 第3回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日時： 2023年12月20日（水）14:00～16:20
2. 場所： ハイブリッド会議（対面：鉄鋼会館 802室～804室＋Web：Teams）
3. 出席者：（敬称略）
- 委員長：榎（東京大学）
- 副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF 応用計測）
- 委員：相川（日本水道協会）、荒井（日本製鉄）、沖（建築研究所）、尾郷（大同特殊鋼）、小野（日本分析化学会）、小野田（日鉄SGワイヤ）、河口（不二越）、熊井（日本検査キューエイ）、桑原（東京農工大学）、近藤（日産自動車）、酒井（神戸製鋼所）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高压ガス保安協会）、辻村（日本金属継手協会）、堤（日本規格協会）、富永（三菱重工業）、中澤（JFEスチール）、林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、藤田（北海道大学）、松本（日本海事協会）、山口（九州工業大学）
- （委員長・副委員長・委員計 26名）
- 欠席：栗原（日本伸銅協会）、富山（土木研究所）、森山（日本アルミニウム協会）、山田（東京大学）
- 幹事：玉田（鉄鋼連盟）
- 関係者：伊藤（経済産業省）、小原（国土交通省） （関係者計2名）
- 事務局：越川・寺澤・井田・山本・齊藤・田谷・松本（鉄鋼連盟） （事務局計7名）

4. 議題及び配布資料

1) 報告事項

- 資料1-1：2023年度 第3回鋼材規格三者委員会名簿
- 資料1-2：2023年度 第2回鋼材規格三者委員会議事録

2) JIS規格審議

<改正>

- 資料2：JIS G 0202 鉄鋼用語（試験）
- 資料3：JIS G 0415 鋼及び鋼製品－検査文書
- 資料4：JIS G 3129 鉄塔用高張力鋼鋼材
- 資料5：JIS G 4109 ボイラ及び圧力容器用クロムモリブデン鋼鋼板
- 資料6：JIS G 3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
- 資料7：JIS G 3318 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯
- 資料8：JIS G 3322 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯
- 資料9：JIS G 3505 軟鋼線材
- 資料10：JIS G 3506 硬鋼線材

- 資料 11 : JIS G 3455 高圧配管用炭素鋼鋼管
資料 12 : JIS G 3456 高温配管用炭素鋼鋼管
資料 13 : JIS G 0589 鋼管の全周自動超音波厚さ検査方法
資料 14 : JIS G 0560 鋼のサルファプリント試験方法
資料 15 : JIS Z 2244-1 ビッカース硬さ試験－第 1 部：試験方法
資料 16 : JIS G 1211-3 鉄及び鋼－炭素定量方法－第 3 部：燃焼－赤外線吸収法（追補 1）
資料 17 : JIS G 1215-4 鉄及び鋼－硫黄定量方法－第 4 部：高周波誘導加熱燃焼
－赤外線吸収法（追補 1）
資料 18 : JIS G 1233 鉄及び鋼－セレン定量方法 2.3-ジアミノナフタレン抽出吸光光度法
資料 19 : JIS H 1270 ニッケル及びニッケル合金－分析用試料採取方法及び分析方法通則
< 制定 >
資料 20 : JIS G 1229-1 鉄及び鋼－鉛定量方法－第 1 部：硫化鉛沈殿分離モリブデン酸鉛重量法
資料 21 : JIS G 1229-2 鉄及び鋼－鉛定量方法－第 2 部：鉄分離ジフェニルチオカルバゾン抽出
吸光光度法
< 廃止 >
資料 22 : JIS G 1229 鋼－鉛定量方法
- 3) 定期見直し案の審議
資料 23 : 2024 年度 JIS 定期見直し調査について
- 4) 事前調査表の審議
資料 24 : 2024 年度 JIS 事前調査表について
- 5) 経過報告書の審議（再審議）
資料 25 : JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材

5. 議事内容及び結果

委員の紹介、議題・資料の確認及び榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

- 5.1** 幹事から、委員会名簿及び 2023 年度第 2 回鋼材規格三者委員会の議事録が報告された。これらの議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。
- 5.2** JIS 規格審議案件の改正 18 件、制定 2 件及び廃止 1 件について、事務局から内容が説明され、以下の質疑応答があった。
- 1) JIS H 1270 に関して、伸銅協会からの Ni 分析規格の移管後、鉄連で初めての改正となるが、製品 JIS はどこが原案作成団体になっているのかの確認があり、ステンレス協会などが原案作成団体となっていることが報告された。
- 上記の他、改正・制定 JIS 案は、規格ごとのコメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、改正 18 件、制定 2 件及び廃止 1 件は、いずれも承認された。
- 5.3** 定期見直し案（26 件）の審議について、幹事から内容が説明され、いずれも原案のとおり承認された。

注記：委員から、“会議当日に改正交付された JIS について、対応方針を 10（今年度改正公示された）に変更する必要があるのではないか？”と確認されたが、後日、経済産業省様に確認の結果、“資料作成段階では改正公示されていないため、11（大臣へ申出済又は今年度申出予

定、JSAへ納品済)のままでよい。”とのご指示をいただいた。

- 5.4** 2024年度案件の事前調査表(改正27件、制定7件、廃止3件)について、幹事から内容が説明され、いずれも原案のとおり承認された。なお、2024年度は、例年どおりに2回の鋼材規格三者委員会(7月及び12月)を開催し、上記案件を按分して審議することが確認された。
- 5.5** 事務局から、JIS G 3106(溶接構造用圧延鋼材)の経過報告書に一部誤記があり、修正内容とともに、原因及び対策が報告された。経過報告書を修正して、申出を行うことが承認された。
- 5.6** 幹事から、次のとおりに報告され、内容が確認された。
- 2024年度第1回鋼材規格三者委員会は、2024年7月24日(水)午後、ハイブリッド会議として開催する。
 - 2024年3月末で、小野委員が退任され交代される予定である。
 - 2023年12月末で、幹事が交代(玉田→松本)する。

以上